新潟大学　人を対象とする研究等倫理審査委員会　オプトアウト書式

①研究課題名	新潟大学医歯学総合病院におけるロボット支援前立腺全摘除術の長期治療成績に関する観察研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2014 年２月以降、本学で「ロボット支援前立線全摘除術」を受けた患者さん。	
③概要	
前立腺全摘除術は、限局性前立腺癌（前立線外への浸潤や転移を認めない）に対する標準的治療の一つです。医療技術の進歩により、本手術は開腹手術から腹腔鏡手術、さらに近年では手術支援ロボット（ダヴィンチ）を用いたロボット支援前立腺全摘除術へと発展してきました。ダヴィンチでは鮮明な画像と緻密な操作が可能であり、従来の手術に比べて手術の負担が少なく、かつ安全で確実な手術が行えるようになりました。しかしながら、ロボット支援前立腺全摘除術は比較的新しい術式であり、長期成績に関するエビデンスは十分ではありません。 今回、当院で「ロボット支援前立腺全摘除術」が行われた症例の長期治療成績を評価し、結果に影響する因子などを考察することによって、今後の診療に役立てるため本研究を計画しました。	
④申請番号	2020-0223
⑤研究の目的・意義	当院で「ロボット支援前立線全摘除術」が行われた症例の長期治療成績を評価し、結果に影響する因子を解明するため
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2026年3月31日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている病歴、血液検査結果、画像検査結果、病理検査結果（前立線生検、全摘標本）を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、再発・死亡情報、治療内容など）、血液検査結果、画像検査結果、病理検査結果
⑨利用の範囲	新潟大学　泌尿器科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学　泌尿器科　教授　冨田善彦
⑪お問い合わせ先	泌尿器科医局　石崎　文雄 Tel：025-227-2289 E-mail：ishizaki@med.niigata-u.ac.jp